

重点施策

次に、まちづくりの重点施策について申し上げます。

1. 「安全・安心なまちづくり」
2. 「笑顔で元気なまちづくり」
3. 「未来につながるまちづくり」

を引き続き重点施策の柱として、各種施策に取り組んでまいりたいと考えております。

・第一の柱であります「安全・安心なまちづくり」については、地域医療対策、防災対策、公共施設の老朽化対策、保健事業の体制整備の強化を図ってまいります。

地域医療体制の整備としては、山ろく町村と協力、連携して休日、夜間の急病センターを設置するとともに、医師確保に努めてまいります。

また、児童をはじめ、高齢者福祉、障害者福祉についてもこれまでの水準を下げることなく、更なる充実に努めてまいりたいと考えております。

泊原子力発電所に係る防災対策について、UPZ（緊急時防護措置準備区域）に指定されたことにより、倶知安町地域防災計画に原子力災害対策編を策定するため、現在、北海道原子力防災計画の見直し内容との整合性を図りながら、素案を作成しているところであり、その素案は北海道と調整した後、倶知安町地域防災会議に諮り承認を得ることとなっております。

また、災害発生時に最も重要となる情報伝達手段の一つであります防災行政無線について、老朽化が顕著なことからデジタル化と併せて設備を更新し、整備を図ることといたしました。

・次に第二の柱として掲げた「笑顔で元気なまちづくり」に關しましては、本町の経済基盤を担う農業、観光、商工業の振興と活性化に引き続き取り組むことといたします。

農業においては、基幹作物の馬鈴薯を主として、輪作体系確立事業を推進するとともに、農業基盤と環境整備に努めてまいります。

観光では、地域間連携による広域観光の形成と観光客の誘致促進とともに、ひらふ地区における自立的まちづくりシステム構築の支援をいたします。

また、本町の自然環境と調和した住宅環境の創造と併せ、定住促進による地域経済の活性化を図るため、「くっちゃん型住宅建設促進補助制度」を創設することといたしました。

教育環境については、統合による新中学校の環境の整備に努めるとともに、老朽化に伴う学校給食センターの移転改築のための実施設計を行います。

また、町内の小学生以下の幼児、児童を対象として、旭ヶ丘スキー場のリフト料金の無料化を行って、町技であるスキーの普及拡大を図ることといたします。

・最後の第三の柱として掲げた「未来につながるまちづくり」

については、社会基盤整備として、町道の整備・改良（5本）、改良に向けた実施測量調査（3本）、懸案の寒別橋の修繕を行うとともに、しらゆき団地住戸改善工事など公営住宅の修繕を引き続き行います。

環境対策の面では、山麓地区における広域ごみ処理開始に向け、今後の課題等に対処するため、廃棄物の処理及び施設整備等に関して調査いたします。

また、高速交通の整備促進として「北海道新幹線」は、平成24年6月に札幌延伸の認可決定を受けたところですが、早期開業に向け関係機関・団体と連携し、積極的に要望活動を実施するとともに、新駅周辺施設整備の検討を引き続き進めます。

一方、「北海道横断自動車道」の黒松内～余市間については、「計画段階評価」により対応方針案が決定され、昨年7月に道路環境調査が開始されました。今後、「新規事業評価」など必要な手続きを経て建設着工へと進むこととなりますので、早期着工に向けた要望活動を引き続き強化してまいります。

以上、3つの柱を基軸とし、効果的・効率的な財財政運営に努め、新年度の町政運営にあたってまいります。